

三阪 佳弘

高等司法研究科・教授

【研究】

- 1) 研究の基本的な柱として取り組んでいる日本の近代の地域社会における弁護士の機能とその役割の研究について、科学研究費補助金基盤(B)「近代市民社会における法的サービス需要充足の構造とその担い手に関する比較法史的研究」(H26～28年度直接経費12,200千円)による共同研究グループ(学内4名 学外5名)を順調に進めている。
- 2) 法学部の歴史研究の成果について、民主主義科学者協会法律部会2015年度学術総会全体シンポジウムで「戦前戦後日本における法学部の社会的役割」を報告した。

【教育】

- 1) 昨年度に引き続き法学部の日本近代法史において、以下のFDを行った。
 - ① 毎回の授業のふりかえりと質問を記載するポートフォリオシートを学生と往復することで、単なる出席ではない平常点の客観化を図った。
 - ② 講義の事前準備を促進するために、当該講義のテーマに則したチャレンジテスト(自由参加)をCLEによって提示し、それにトライする意欲ある学生の事前学習を促進する方策を行った。これも、平常点の客観化につながった。
- 2) 高等司法研究科の法理論・比較法史についても、①を実践した。

【管理運営】

- 1) 研究科長として、高等司法研究科の運営を行った。
- 2) 適塾記念センター兼任教員として、大阪大学史研究と建学の精神顕彰活動に貢献した。
- 3) 大阪大学アーカイブズ兼任教員として、アーカイブズの運営に関与して、公文書の保存管理公開という面での大阪大学の社会的活動に貢献した。

【社会貢献】

- 1) 法学部同窓会、阪大法曹会、高等司法研究科後援基金の幹事として、研究科との連携につとめた。両研究科・同窓会創設記念事業のための青雲キャリア支援基金など基金運営の安定化のために、同窓会・法曹会との連携を行うことで、研究科に貢献した。
- 2) 適塾記念会幹事として、重要文化財適塾の保存活動と、研究活動に貢献した。
- 3) 大阪府労働委員会公益委員としての社会貢献を行った。